

機械も作られ、普及している。スピロ社が開発した最新の機械は、その生産スピードに魅力があり人気が高い。一方、国産のものは生産性は落ちるものの、ステンレス鋼や塩ビ被覆鋼板等の成型には適しているという利点がある。今後は継手類の加工機、フレキシブルダクトの加工機の低価格化が課題となるだろう。

以上のように、ダクト加工に関する機械は、ここ10年位の間と一段と飛躍した。ダクト工事は製作作業2/3、取付作業1/3と言われてきたが、最近ではこの比率は逆転している。その原因は製作関連の機械が進歩したのに対し、取付作業に使われている機械の進歩が遅いためである。揚重機、高所作業車など新しいものが出ては来たが、まだまだ改良が必要と思われる。一刻も早く、作業性が高く、操作も簡単で、なおかつ、安全性も兼ね備えた機械工具の出現を望んでいるのが現状である。

1. 切断用機械

プラズマ切断システム



CADシステム

NC切断システムへの入力データを作成する、自動プログラミングシステムです。

